

# 週替わりで一息!

第2015回例会 (第26版)

今回の二十四節気・七十二候 (にじゅうしせつきしちじゅうにこう)

小寒(しょうかん)「寒の入」といわれ、これから更に寒さが厳しくなるころ。小寒から節分までの三十日間のことを「寒の内」といいます。寒が明けると立春になります。

次候「一月十日～一月十四日」水泉動(すいせんうごく[しみずあたたか  
をふくむ]) 68

「地中で凍った泉動き始める」地中で凍った泉の水が溶け、動き始める頃。まだまだ空気は冷たく、寒い時期ですが、春に向けて少しずつ動き出しています。小寒と大寒の間の水は「寒の水」体に良いといわれ、特に寒入り後九日目(一月十四日)の水は「寒九の水(寒九に汲む水は、薬を飲むのに良いとされています。)

この時期お灸をすると効き目が大きいといわれている頃。11日は、成人の日でもあり、お正月にお供えした鏡餅を下げて食す「鏡開き」。「餅に赤カビ生えれば日照り、青カビ生えれば雨」「鏡餅の割れ多ければ豊作」といったことわざが。

飾っておいて硬くなったお餅を木槌などで割り、手で砕きます。さらに、神様と縁を切らないように「割る」や「砕く」とは言わず、縁起のよい言葉「開く」に言い換えて表現されます

10年前の主なニュース (2006年1月9日～1月21日)

- ・ だるまや西部が「福井西部」に改称。(昭和3年「だるまや」創業、1980年「だるまや西部」に・現在の「西部福井店」は2009年から。
- ・ ニコンがフィルムカメラ撤退、しかしF6、FM10は存在しています  
コニカミノルタがカメラ、ソニーに譲渡し完全撤退。



新年明けましておめでとうございます「本日1月8日の金曜日」新年を迎え会長・幹事の年頭所感の発表。



2016年新年を迎え2週間ぶりの例会の様子。初回の昼食はカレーでした。

四つのテスト

